

令和3年度 学校だより



# 双葉のいのち

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/baba/>

令和3年4月30日  
横浜市立馬場小学校  
校長 町田 大樹

5月号

## つながりの中で

校長 町田 大樹

「おはようございます！」

校門や昇降口で子どもたちの気持ちのよい声が響きます。昨年度は実施できなかった登校班での登校風景が戻ってきました。年度はじめの10日間、保護者・地域の皆様にご協力をいただき、安心・安全な登校となりました。特に低学年の子どもにとって、多くの方に見守られながら登校できることは不安感の解消にもつながります。1年以上の間において登校班の実施となりましたが、これまで築き上げてきたベースがあったからこそ、スムーズに再開することができました。保護者の皆様の付き添いのもと、高学年のお兄さん、お姉さんを先頭に一列になって歩いてくる馬場っ子の列を見ると、多くの方が積み重ねてきた安全への思いを感じます。PTA、ここにこ防犯隊、そして地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



晴天に映える校舎と色鮮やかに咲くバラ

昨年度は実施できなかった『一年生を迎える会』も、規模を縮小して実施しました。テレビ放送で各学年から「ようこそ！」のメッセージを送り、その後、廊下で一列に並んで、2年生から一人ひとりに入学おめでとうメダルを渡しました。1年生の入学を心待ちにしていた在校生の喜びが伝わるといいなと思います。

昨年度、全校では数回しか実施できなかった避難訓練も4月に2回実施しました。学年ごとに日や時間を分けて分散で実施するなど、例年とは異なる形式で行いました。

まだまだ制限は続きますが、できないからすぐに中止ではなく、どうすれば実現可能か、代替の方法はないかを考え、子どもたちがわくわくできる瞬間を少しでも多くつくっていききたいと思います。

今年度はwith コロナで土台をつくる一年だと考えています。感染防止と学びの保証を考慮して、日課表にも変更を加えました。子どもの成長は止まることはありません。どの子の成長にとってもかけがえのない、大切な一年となります。様々な出会いを大切に一年をつくっていききたいと思います。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

4月20日からの県内のまん延防止等重点措置の適用によって、学年・学級懇談会については、残念ながら中止とさせていただきました。今しばらくは大人数で集まる機会は控えさせていただきます。お子さんの成長にとって、学校と家庭が両輪となることは、とても大切です。今後の家庭訪問、個人面談は実施予定です。短時間にはなりますが、年度はじめのこの時期に、保護者の皆様とも顔の見える関係を築き、信頼関係の中で子どもたちを育てていききたいと思っています。